

## ◆R06 子ども読書アンケート分析 【保護者編】◆

### ○問2 あなたは本を読むことが好きですか？

「好き」「どちらかといえば好き」が80.1%だった。読書に対して好意的に考えている保護者が多いことがうかがえる。

■R6年度〔R5年度〕回答 (%)

「好き」「どちらかといえば好き」	「嫌い」「どちらかといえば嫌い」
80.1〔79.2〕	19.9〔20.8〕

### ○問3 お子さまは絵本を読んだり見たりすることが好きですか？

「好き」「どちらかといえば好き」との回答が95.9%の割合で好意的に受け止めていることがうかがえる。

■R6年度〔R5年度〕回答

「好き」	「どちらかといえば好き」	「どちらかといえば嫌い」	「嫌い」	わからない
59.9〔57.0〕	36.0〔37.6〕	1.9〔2.0〕	0.0〔0.1〕	2.3〔3.3〕

### ○問4 本を借りるとしたらどこで借りることが多いですか？

(特に多いものに☑してください。)

「購入する」との回答が49.4%と最も多かった。市図書館のリニューアル工事が終了し6月に開館されたことも影響したのか「市図書館で借りる」との回答は4.2ポイント増加し40.6%となった。

■R6年度〔R5年度〕回答 (%)

市図書館	市立公民館	恵子児童館	保・幼・認定	購入	その他
40.6〔36.4〕	0.8〔0.1〕	0.6〔0.0〕	5.3〔4.3〕	49.4〔54.5〕	3.3〔4.7〕

### ○問5 本に触れ合うことで、お子さまはどのように変化したと思いますか？(複数回答可)

「子どもの方から読んでというようになった」「自分で読みたがる」「本が好きになった」と回答した割合は増加しており、絵本に対して興味が出ていることがうかがえる。また、「その他」の回答では、「寝る前のルーティンになった」「親子の時間が増えた」「兄弟に読んでくれる」などコミュニケーションにもつながっている様子がわかる。一方で「家庭では読まない」との回答が0.9%だったが、その他の意見では「まだ読み聞かせていない」「まだわからない」といった意見もあった。

■R6年度〔R5年度〕回答 (%)

子どもの方から読んで	自分で読みたがる	登場人物の真似をする	本が好きになった	絵や文字などに興味を持つ	感性が豊かになった	色々なことを話すように
21.8〔21.3〕	16.6〔16.4〕	7.0〔7.8〕	11.5〔11.0〕	12.0〔13.4〕	5.3〔4.9〕	7.7〔7.7〕
人の話が聞けるように	言葉が増えた	落ち着いた	表現力が豊かに	家庭では読まない	その他	
1.6〔1.7〕	9.3〔8.7〕	0.7〔0.4〕	5.1〔5.2〕	0.9〔1.0〕	0.7〔0.5〕	

### ○問6 絵本・読書イベントに参加したことがありますか？

「参加したことがない」との回答の割合が39.2%だった。半数以上が何かのイベントに参加しており、その他の回答には、「絵本屋さんのイベント」「遊び場での読み聞かせのイベント」「地域子育てサロン」などの意見もあった。

■R6年度〔R5年度〕回答

すくすくブックタイム	読書ボランティアの読み聞かせ	図書館のイベント	ふれあい子ども館のイベント	参加したことはない	その他
26.7〔26.3〕	9.6〔7.5〕	8.9〔7.2〕	14.6〔15.2〕	39.2〔42.6〕	1.0〔1.2〕

○問7 絵本や読書に関するどんなイベントがあったら参加してみたいですか？

「読み聞かせ・おはなし会」との回答が41.4%と読み聞かせやおはなし会への関心は高い。

■R6年度[R5年度]回答

読み聞かせ・おはなし会	年齢に応じた絵本の紹介	絵本に関する講話	体験学習会	その他
41.4 [44.1]	34.6 [32.5]	3.3 [4.4]	18.2 [16.0]	2.4 [3.0]

○問8-1 お子さま向けの本で、電子書籍を利用しますか？

「いいえ」との回答で94.3%と高い割合を占めており、電子書籍は利用している可能性はあるが、お子さま向けの本での利用は少ないことがうかがえる。

■R6年度[R5年度]回答

はい	いいえ
5.7 [7.2]	94.3 [92.8]

○問8-2 電子書籍をどのような方法で利用していますか？

「市図書館の電子図書館」との回答10.9%に比べると、「買う」との回答では45.7%と高い割合で、電子書籍を購入して利用している保護者が多い。「その他」の意見でも、「アプリ（無料含む）」「サブスク」などの回答もあり、民間の有料サービスを利用する保護者が多いとうかがえる。

■R6年度[R5年度]回答

市図書館の電子図書館	買う	その他
10.9 [10.9]	45.7 [40.6]	43.5 [48.5]

○問8-3 電子書籍で利用するジャンルをおしえてください。

全体の割合で最も高かったのは、「絵本」との回答が53.9%だった。また「図鑑」や「学習教材」と回答した割合も一定数あった。

■R6年度[R5年度]回答

絵本	図鑑	学習教材	その他
53.9 [49.5]	23.7 [21.0]	21.1 [26.7]	1.3 [2.8]

○問9 読書バリアフリー（LLブック・拡大読書器・録音図書・電子書籍など）がどういうものか知っていますか？

昨年度に比べると「いいえ」との回答が7.3ポイント減少し69.3%だった。また「はい」「聞いたことがある」との回答の割合30.7%と昨年度に比べ7.3ポイント増加しており、読書バリアフリーの認知度は上がってきているので引き続き啓発を行っていく必要がある。

■R6年度[R5年度]回答

はい	いいえ	聞いたことがある
11.8 [9.2]	69.3 [76.6]	18.9 [14.2]

（総括）

○本や絵本に好意的な保護者やお子さまが多く、絵本に触れ合うことで、絵本に興味を持ち、家族間でのコミュニケーションにもつながっているのではないかと感じる。

○本や読書に関するイベントに関して、興味や関心を持ってもらえるような企画や、本や絵本が親子のコミュニケーションのツールとして活用してもらえるよう、また、親子で読書を楽しんでもらうためにライフスタイルにあった啓発活動が重要であると思われるため、取り組みや啓発をどう行っていくかが課題である。

○また、読書バリアフリーに関しても、市図書館サービスも含め、引き続き啓発の取り組みを見直していきながら、今後の電子書籍を利用した読書活動についても見ていきたい。